



小学校算数指導資料(暫定版)を活用した

組織的な指導改善の実際～吉備中央町立加賀東小学校の取組～

©岡山県「ももっち」

小学校算数指導資料(暫定版)を各校へ配付したところ、アンケートにおいて多数の回答をいただきました。その中で特に多かったのが、「活用している学校の具体例を知りたい」というご意見です。そこで本号では、吉備中央町立加賀東小学校の取組を紹介します。

研究主任にインタビュー



研究主任

姫井章孝 指導教諭

指導資料を活用しようと思ったきっかけは何ですか？



本校は、割合の指導に課題があると感じていました。そこで、4年生の「簡単な場合についての割合」の学習が始まる前に、校内研修で指導資料を活用して割合の指導について考えたいと思いました。



指導資料をどのように活用しましたか？



指導資料4・5ページに記載されている「I 指導改善に向けた5つのステップ」の①～③に取り組みました。

時間の都合上、全ては行えませんでしたが、①～③に取り組むことで、参加された先生方が自分の学年で何を取り組むのか考えるきっかけとなりました。



指導資料を活用した感想をお聞かせください！



特に、割合についての理解を深めるために、図などの表現方法を大切にしたかったので、その共通理解が図れて良かったです。

また、複数学年の先生と一緒に考えることで、学校全体で割合指導の改善が進んでいくと思いました。

活用の具体

校内研修で「割合」の設問の誤答分析を基にした授業づくり(45分程度)

1.「割合」の設問の誤答分析

→自校の解答類型と反応率を基に、なぜ、その誤答を選択したのかを全員で考える。

指導資料P. 4 「① 児童の誤りを把握・分析する」を活用

2.指導の要点について協議

→割合を指導する際には、図的な表現を用いることが大切という意見を共有する。

指導資料P. 4 「② 大切にする見方・考え方を理解する」を活用

3.割合指導の系統性の確認

→他学年の学習を参考に各学年で何に取り組むかを考えるきっかけとする。

指導資料P. 5 「③ 学年をまたいだ系統性を把握する」を活用

I 指導改善に向けた5つのステップ

- ① 児童の誤りを把握・分析する
- ② 大切にする見方・考え方を理解する
- ③ 学年をまたいだ系統性を把握する
- ④ 担当する学年で自分が取り組むことを決める
- ⑤ 児童の学習状況を見取る

II 算数の指導で大切にしたい3つのポイント

- Point1 児童の典型的な誤りを指導に生かす
- Point2 学習内容に関わる系統性を理解する
- Point3 様々な数学的な表現を用いて具体と抽象を関連付ける

イチ押し！

『小学校算数の指導改善に向けた教師の学び～5つのステップと3つのポイント～』から引用

指導資料は、上の図に示しているように2部構成になっています。加賀東小学校のように、「I 指導改善に向けた5つのステップ」を参考にすることで、学校全体の指導改善に役立てる事ができます。また、「II 算数の指導で大切にしたい3つのポイント」を参考にすることで、日々の授業における改善の視点を理解することができます。ぜひ一度、別添指導資料をご活用ください。

